

第18回長野市公共施設適正化検討委員会 議事要旨	
開催日時	平成28年11月24日(木) 14:00~15:50
場 所	長野市役所第二庁舎8階 会議室282
出席者	<p>[委員] 松岡委員長、神田副委員長、太田委員、清水委員、中屋委員、西堀委員</p> <p>[事務局(行政管理課)] 小川総務部長、丸山行政管理課長、村上行政管理課長補佐兼公共施設マネジメント推進室長、大塚行政管理課長補佐、竹内行政管理課主事</p> <p>[文化スポーツ振興部] 倉石文化スポーツ振興部長、下平スポーツ課長、高木スポーツ課長補佐</p> <p>[事務局支援] 一般財団法人長野経済研究所：折井研究員</p>
議 事	<p>(1) ボブスレー・リュージュパークの在り方の検討について</p> <p>(2) 公共施設マネジメント推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再配置計画の策定について ・公共施設等総合管理計画の策定について

【次 第】

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議 事

【審議事項】

- (1) ボブスレー・リュージュパークの在り方の検討について
- (2) 公共施設マネジメント推進について
 - ・公共施設再配置計画の策定について
 - ・公共施設等総合管理計画の策定について

- 4 閉 会

【開 会】

委員長あいさつ

〔松岡委員長からあいさつ〕

議 事

(1) ボブスレー・リュージュパークの在り方の検討について

〔資料1-1,2についてスポーツ課、資料1-3について行政管理課(事務局)より説明〕

委員長 ただいまの説明について、質問、意見又は要望等があればお願いしたい。

委員長 資料1のケース別シミュレーションの中に施設を解体とあるが、これはコース以外の建物も含めているのか。

スポーツ コースの他、スタートハウスや管理棟、また3つの冷却棟を含む全ての施設を解体

した場合の試算である。

委員 施設の老朽化に対する改修費用はどのくらいと試算しているか。

スポーツ ケース別シミュレーションの中で、継続した場合に10年間で約31.2億円となっており、管理運営費が年間で約2億円のため、その分を差し引いた約11億円が改修費用と見込んでいる。

委員長 外国の施設の整備状況はどうか。

スポーツ 国際競技連盟が公認しているのが、ヨーロッパを中心に全世界で17コースある。ドイツには4コースあり、その他フランスやイタリア、スイスやノルウェーなどにある。アジアでは日本と、再来年オリンピックが行われる平昌に新設された。

委員 スパイラルにおける国際大会の開催実績を教えてください。

スポーツ オリンピックが終わってから10年くらいは、各種目のワールドカップが行われていた経過がある。「長野オリンピック記念基金」というものがあり、そちらを活用して開催していた。

委員 オリンピック直後は国際大会を積極的に誘致していたようだが、それ以降国際大会が開かれていないのはなぜなのか。施設自体が国際大会を行うに足りない施設になっているということか。

スポーツ 「オリンピック記念基金」がなくなり、大会招致や運営の費用が限られてきているのも一つの理由である。その他、競技団体の関係者の高齢化や運営できる人員が減ってきているという話も聞いている。また、施設の老朽化の問題もあり、電光掲示板や照明など競技と密接に関係する部分の改修が必要になってきている。ワールドカップなどの第一線級の大会を行うには、ある程度の改修は必要という認識である。

委員 運営側の高齢化という話があったが、競技人口においても次世代を担う後継者を育てていかなければいけないが、スパイラルが全面休止または廃止となった場合に、選手たちはどこで練習をするのか。

スポーツ すでに外国に拠点を置いて強化を図っている選手もいる。例えば韓国のボブスレーチームは国内に施設がなく、スパイラルなどの国外施設で強化を図り、優秀な成績を収めている。競技団体にはこの資料について説明を行っており、競技団体としては各都道府県連の意見を聞きながら、意見を一本化するということで調整していただいているところである。

委員長 競技によっては、入場料収入が期待できるような施設や種目がある。その収入のうち何パーセントかは賃貸料として徴収して維持補修や管理費に回すことはできないのか。

スポーツ 大会での売上金はすべて主催者のものであるもので、収入が多いからといって修繕費などに充てられるわけではない。主催者側からは建物の利用料を徴収するので、大会

の数が多くなれば収入も増えることになる。長野市の場合は指定管理者にお金が入ることになるので、収入が多くなれば、市からの指定管理料を減らすということになる。

委員 決算額一覧表を見れば、他のオリンピック施設に比べて、スパイラルの利用者一人当たりの一般財源負担が突出して多いのは明らかである。国の補助金がなければさらに金額は跳ね上がる。今後検討していく上で大きな判断材料になる。

委員長 スパイラル友の会や競技連盟などの各団体と個別に話し合いをしているようだが、一堂に会して話し合うことはしていないのか。

スポーツ 今までそのような場は設けていない。それぞれの立場や思いがあるので、個々に話を伺った上で、最終的には市として判断をしていく。

(2) 公共施設マネジメント推進について

〔資料 2 について事務局より説明〕

委員 資料 2 の 12 ページや 13 ページにある「評価なし」はということなのか。

事務局 評価した後にできた施設や、独立行政法人化した市民病院などである。

委員 芋井以外のモデル地区はどうなっているのか。

事務局 今年度選定することは難しいが、芋井地区のようなエリアマネジメントの手法を取り入れながら、各地区で出前講座を行っていく中で、できるだけ多くの地区で取り組みを進めていきたいと考えている。

委員 23 ページにある施設評価と立地評価の見方を教えていただきたい。

事務局 22 ページをご覧ください、施設評価というのは、利用者数や収支、築年数などで点数化したものである。立地評価というのは、市民プールの周辺に代替施設があるかどうかで点数化しており、代替施設がより多くある施設は減点となっている。詳細な分析や点数の見方については、40 ページの「6 モデル施設群における再編の検討（市民プール）【詳細版】」に掲載する予定である。

委員 ここに出てきている数字と、市民としての実感にはギャップがあるので、その説明は載せていかないといけない。

【閉 会】